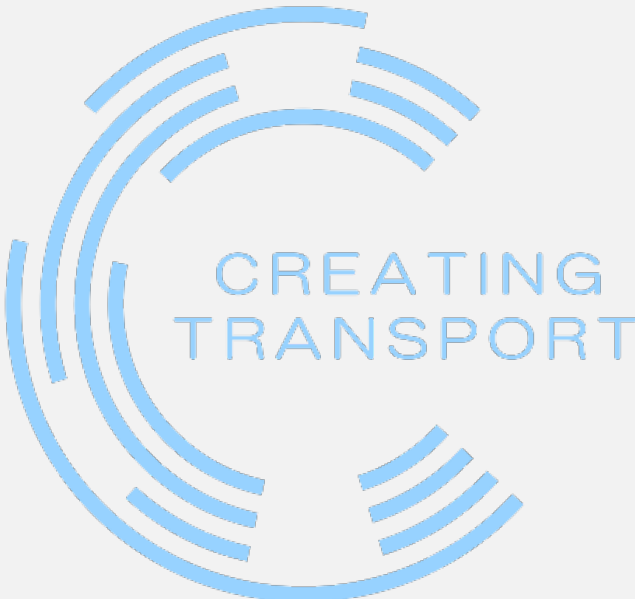


The logo features a stylized circular graphic composed of several concentric, broken blue lines. The text "CREATING TRANSPORT" is centered within this graphic in a blue, sans-serif font.

CREATING
TRANSPORT

2023年3月期 第2四半期 決算説明会

2022年10月25日

 **TRANCOM**
トランコム株式会社

(証券コード : 9058)

業績

2023年3月期 上期実績

- ・荷動きは回復基調、世の中のモノの流れへの変化へ柔軟に対応
- ・物流情報サービス事業の成約件数増と、海外事業（中国）での業務領域拡大により増収
- ・将来に向けたD X・人材強化・海外展開に伴う一般管理費用が増加し、営業利益は減益
- ・システム外販事業の譲渡益を計上し、純利益は増益

見通し

2023年3月期 通期見通し

- ・上期同様に荷動きは回復基調を想定し、下期売上高は全セグメントで増収を計画
- ・下期の営業利益はL M事業で大幅増益を見込むが、上期の減益分を吸収できず通期では減益を計画
- ・将来の成長に向けた先行投資費用を計画に織り込み、当初計画の営業利益を下方修正

株主還元

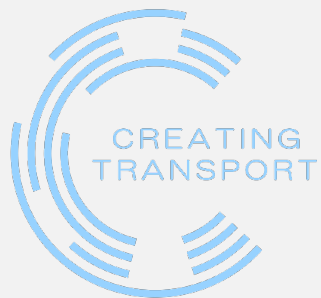
株主還元

- ・年間配当予想は、当初発表のとおり年間136円、22期連続増配とする
- ・2022年5月から開始した自己株式取得は予定のとおり取得中

はこぶ戦略

「はこぶ」仕組みづくりと事業展開のスピードアップ

- ・中期経営計画2年目の年、トランコムを目指す「はこぶ」が明確化
- ・「はこぶ」仕組みづくりに向けてスピードアップを図る重要な1年
- ・中核となる物流情報サービス事業の強化が必須



2023年3月期 上期実績

2023年3月期 上期連結業績

(単位：百万円)

	2022年3月期			2023年3月期						計画	
	第1四半期	第2四半期	上半期累計	第1四半期	前期比	第2四半期	前期比	上半期累計	前期比	上半期計画	計画比
売上高	39,605	40,110	79,716	41,556	4.9%	42,333	5.5%	83,889	5.2%	83,280	0.7%
営業利益 (売上高比)	2,164 (5.5%)	1,795 (4.5%)	3,959 (5.0%)	1,882 (4.5%)	-13.0% (-1.0P)	1,778 (4.2%)	-0.9% (-0.3P)	3,660 (4.4%)	-7.5% (-0.6P)	3,820 (4.6%)	-4.2% (-0.2P)
経常利益 (売上高比)	2,201 (5.6%)	1,808 (4.5%)	4,010 (5.0%)	1,993 (4.8%)	-9.5% (-0.8P)	1,812 (4.3%)	0.2% (-0.2P)	3,805 (4.5%)	-5.1% (-0.5P)	3,890 (4.7%)	-2.2% (-0.2P)
親会社株主に帰属する当期純利益 (売上高比)	1,453 (3.7%)	1,146 (2.9%)	2,600 (3.3%)	1,310 (3.2%)	-9.8% (-0.5P)	2,009 (4.7%)	75.2% (+1.8P)	3,320 (4.0%)	27.7% (+0.7P)	3,380 (4.1%)	-1.8% (-0.1P)

売上高

物流情報サービス事業の成約件数増加、海外事業での事業領域拡大により連結計5.2%の増収

営業利益

海外事業は利益貢献したが、物流情報サービス事業の支払い費用の上昇、一般管理費の増加により連結計7.5%の減益

当期純利益

システム外販事業の譲渡益を計上し、連結計27.7%の増益



2023年3月期 上期連結業績 〈セグメント別〉

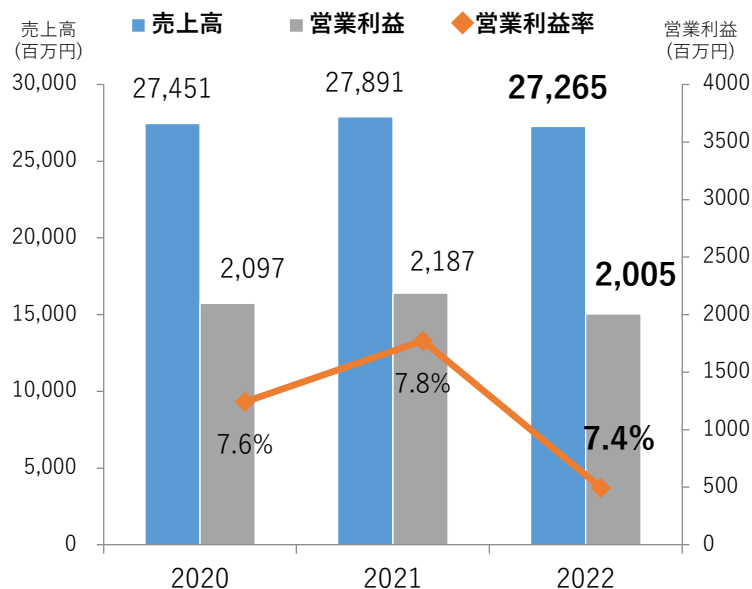
(単位：百万円)

		2022年3月期			2023年3月期						計画	
		第1四半期	第2四半期	上半期累計	第1四半期	前期比	第2四半期	前期比	上半期累計	前期比	上半期計画	計画比
ロジスティクス マネジメント事業	売上高	14,037	13,853	27,891	13,580	-3.3%	13,685	-1.2%	27,265	-2.2%	27,400	-0.5%
	営業利益 (売上高比)	1,214 (8.7%)	972 (7.0%)	2,187 (7.8%)	1,059 (7.8%)	-12.7% (-0.9P)	946 (6.9%)	-2.7% (-0.1P)	2,005 (7.4%)	-8.3% (-0.4P)	2,040 (7.4%)	-1.7% (+0.0P)
物流情報 サービス事業	売上高	21,344	22,036	43,381	22,937	7.5%	23,270	5.6%	46,207	6.5%	46,460	-0.5%
	営業利益 (売上高比)	796 (3.7%)	734 (3.3%)	1,531 (3.5%)	665 (2.9%)	-16.5% (-0.8P)	649 (2.8%)	-11.5% (-0.5P)	1,315 (2.8%)	-14.1% (-0.7P)	1,535 (3.3%)	-14.3% (-0.5P)
インダストリアル サポート事業	売上高	1,557	1,605	3,162	1,467	-5.7%	1,427	-11.1%	2,894	-8.5%	3,050	-5.1%
	営業利益 (売上高比)	76 (4.9%)	86 (5.4%)	162 (5.1%)	81 (5.6%)	7.0% (+0.7P)	71 (5.0%)	-16.6% (-0.4P)	153 (5.3%)	-5.5% (+0.2P)	150 (4.9%)	2.3% (+0.4P)
その他	売上高	3,017	3,026	6,043	3,954	31.1%	4,334	43.2%	8,289	37.2%	7,060	17.4%
	営業利益 (売上高比)	109 (3.6%)	40 (1.3%)	149 (2.5%)	156 (3.9%)	42.3% (+0.3P)	204 (4.7%)	409.3% (+3.4P)	360 (4.3%)	140.5% (+1.8P)	235 (3.3%)	53.2% (+1.0P)
連結消去	売上高	-351	-411	-763	-382	-	-384	-	-767	-	-690	-
	営業利益 (売上高比)	-33 (-)	-37 (-)	-71 (-)	-80 (-)	-	-93 (-)	-	-174 (-)	-	-140 (-)	-
連結合計	売上高	39,605	40,110	79,716	41,556	4.9%	42,333	5.5%	83,889	5.2%	83,280	0.7%
	営業利益 (売上高比)	2,164 (5.5%)	1,795 (4.5%)	3,959 (5.0%)	1,882 (4.5%)	-13.0% (-1.0P)	1,778 (4.2%)	-0.9% (-0.3P)	3,660 (4.4%)	-7.5% (-0.6P)	3,820 (4.6%)	-4.2% (-0.2P)

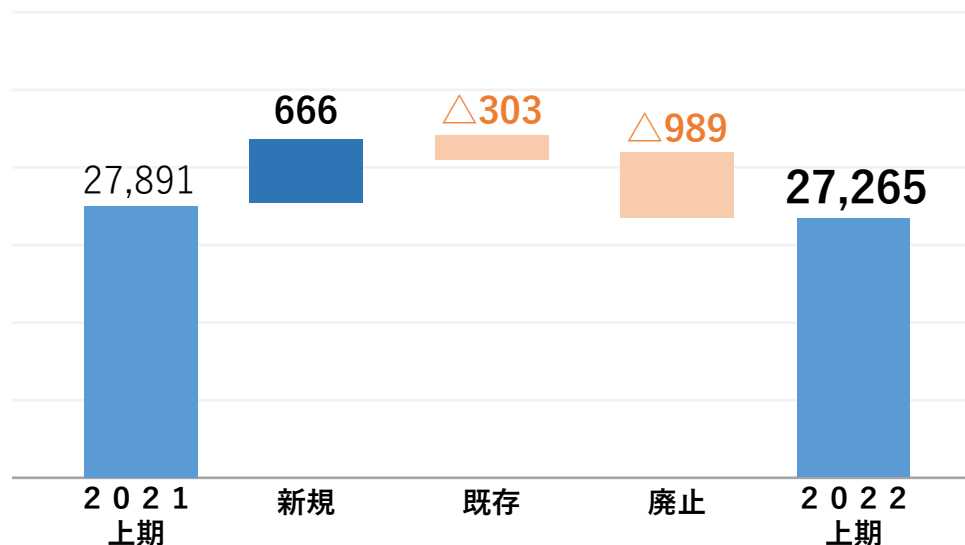


2023年3月期 上期連結業績 〈LM事業〉

売上高・営業利益・営業利益率



売上高増減 単位：百万円



売上高

前期及び今期新規拠点開設による増収はあったが、政策的な拠点廃止の影響により減収

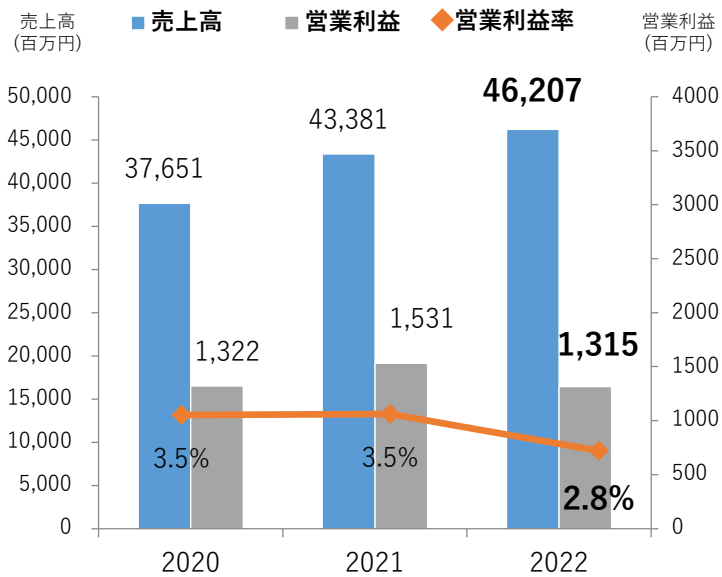
営業利益

今期新規開設拠点の初期費用及び「はこぶ」に向けた先行投資費用の計上により減益



2023年3月期 上期連結業績 〈物流情報サービス事業〉

売上高・営業利益・営業利益率



主な指標

	前期比	1 Q	2 Q
貨物情報数		14.2%増	13.2%増
空車情報数		11.2%減	5.3%減
成約件数		4.8%増	4.7%増

	2021年3月末	2022年3月末	2022年9月末
生産性人員	578名	566名	614名
専属車両台数	1,570台	1,658台	1,660台
拠点数	41拠点	45拠点	46拠点

2021年	4月	関西ラストマイルセンター	ラストマイルマッチングのエリア拡大
		大阪国際情報センター	国際物流マッチングへ事業領域拡大
	8月	静岡第2情報センター	CTIを導入したオペレーションを行うセンター
		高松情報センター	//
2022年	4月	関西特車センター	特殊車両を専門に対応するセンター

※CTIとは「Computer Telephony Integration」の略

売上高

1件のマッチングにこだわった事業運営により
成約件数が増加（前期比4.7%増）したことにより増収

営業利益

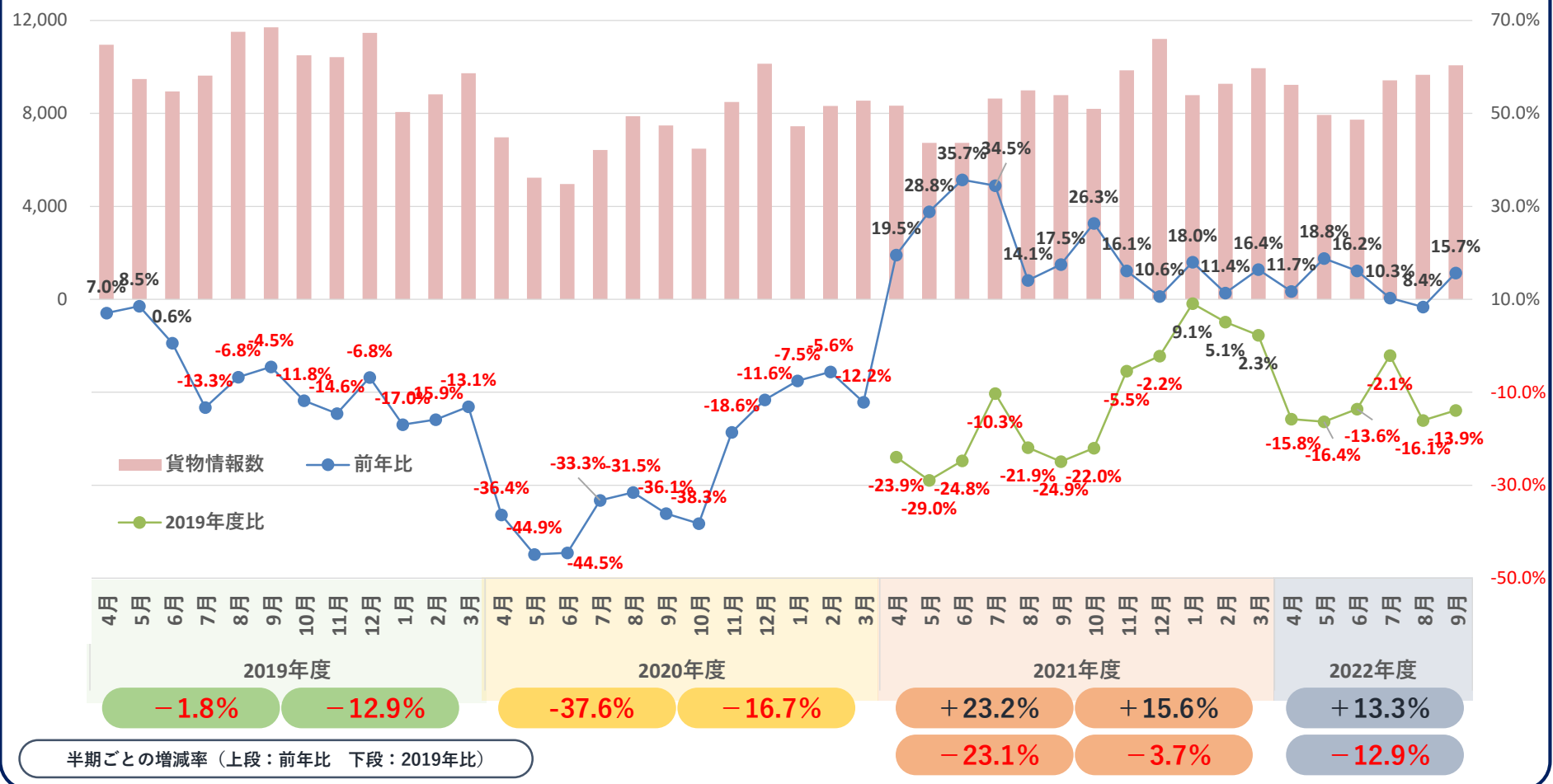
燃料費高騰等による支払い単価の上昇により減益





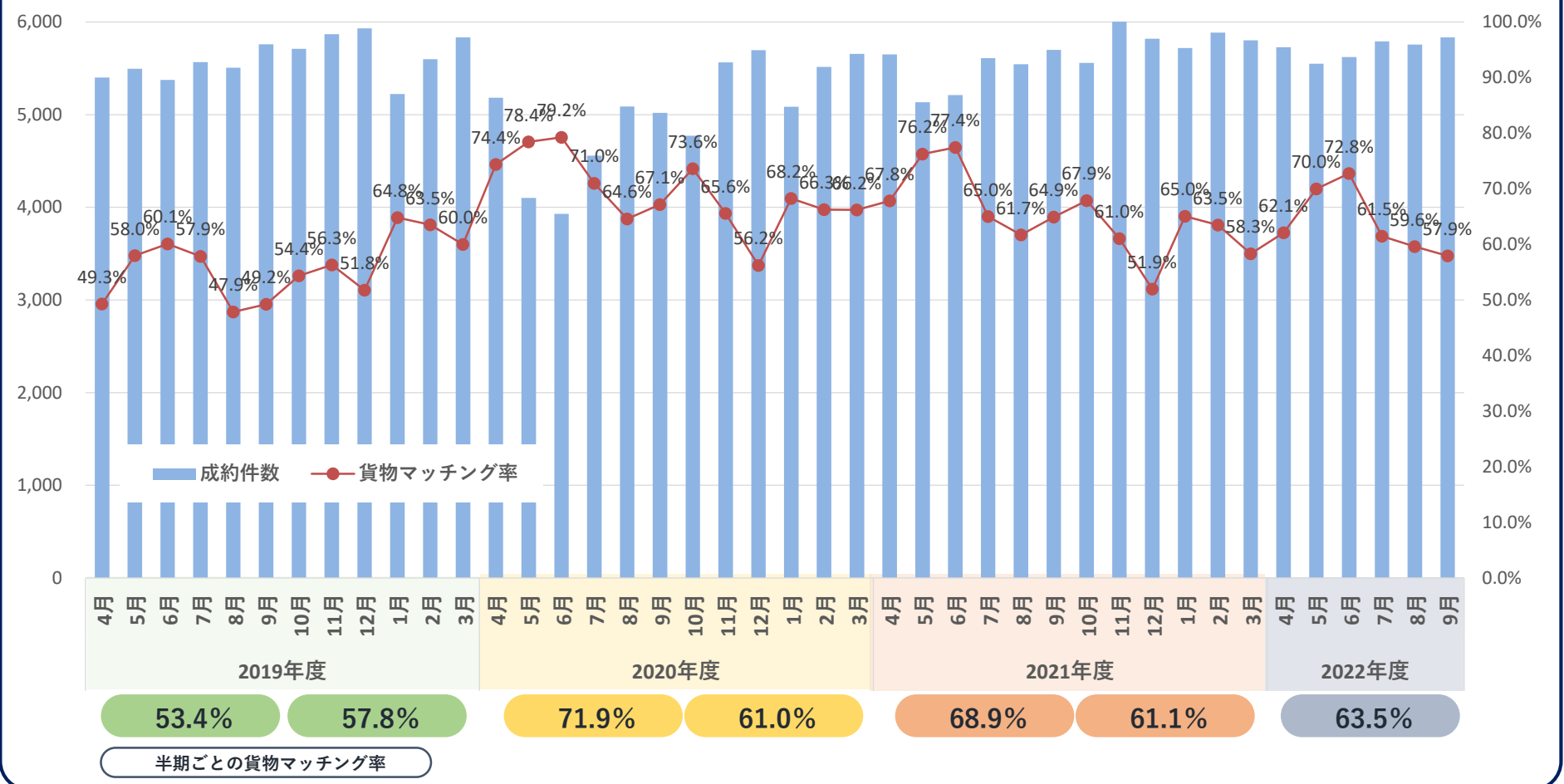
物流情報サービス事業コロナ禍の事業状況

2019年4月以降の日当たり貨物情報件数と、前年・前々年同月増減率



物流情報サービス事業コロナ禍の事業状況

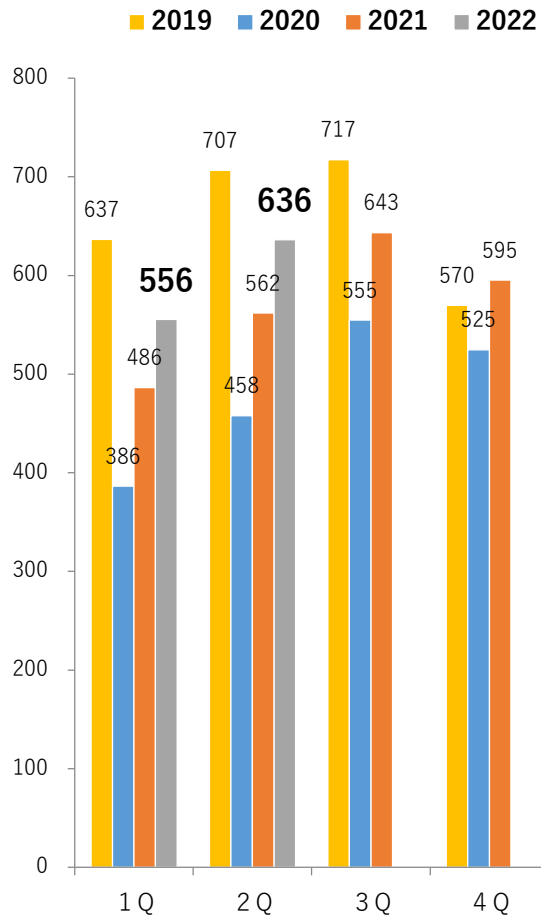
2019年4月以降の日当たり成約件数と、貨物マッチング率



物流情報サービス事業 情報数

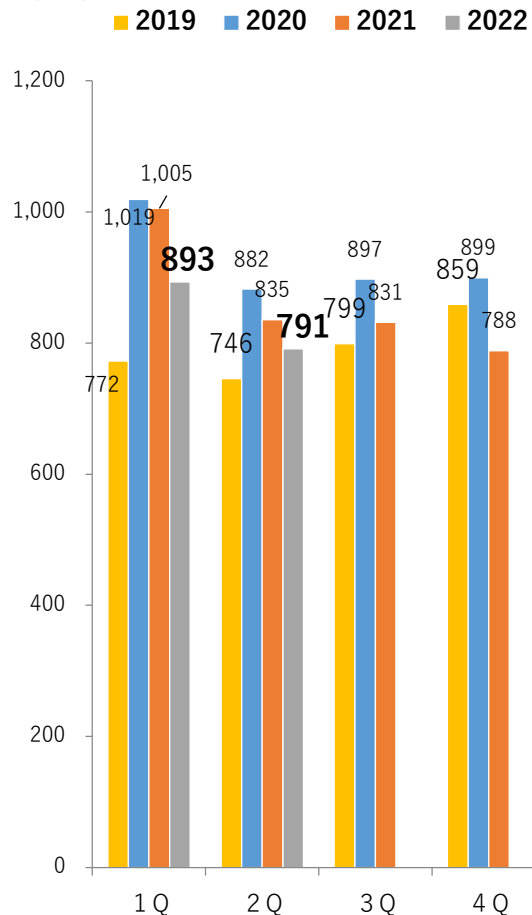
貨物情報数

(千件)



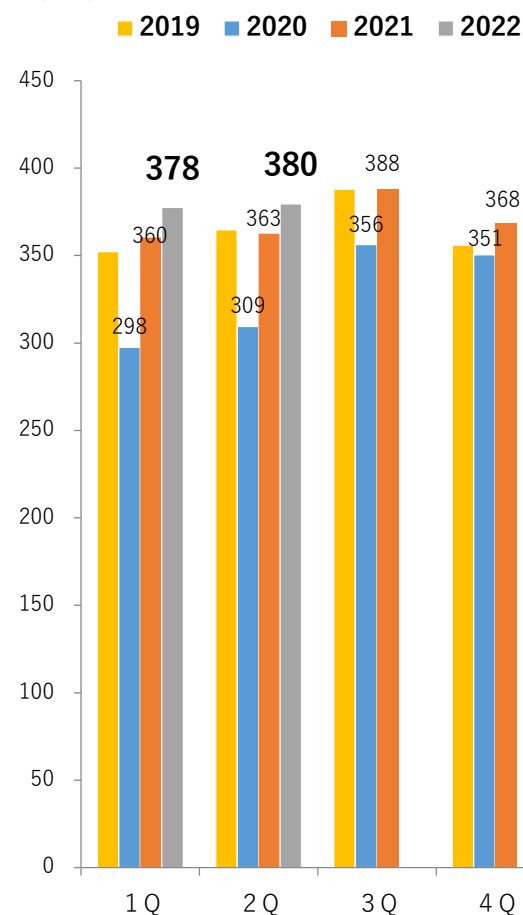
空車情報数

(千件)



成約件数

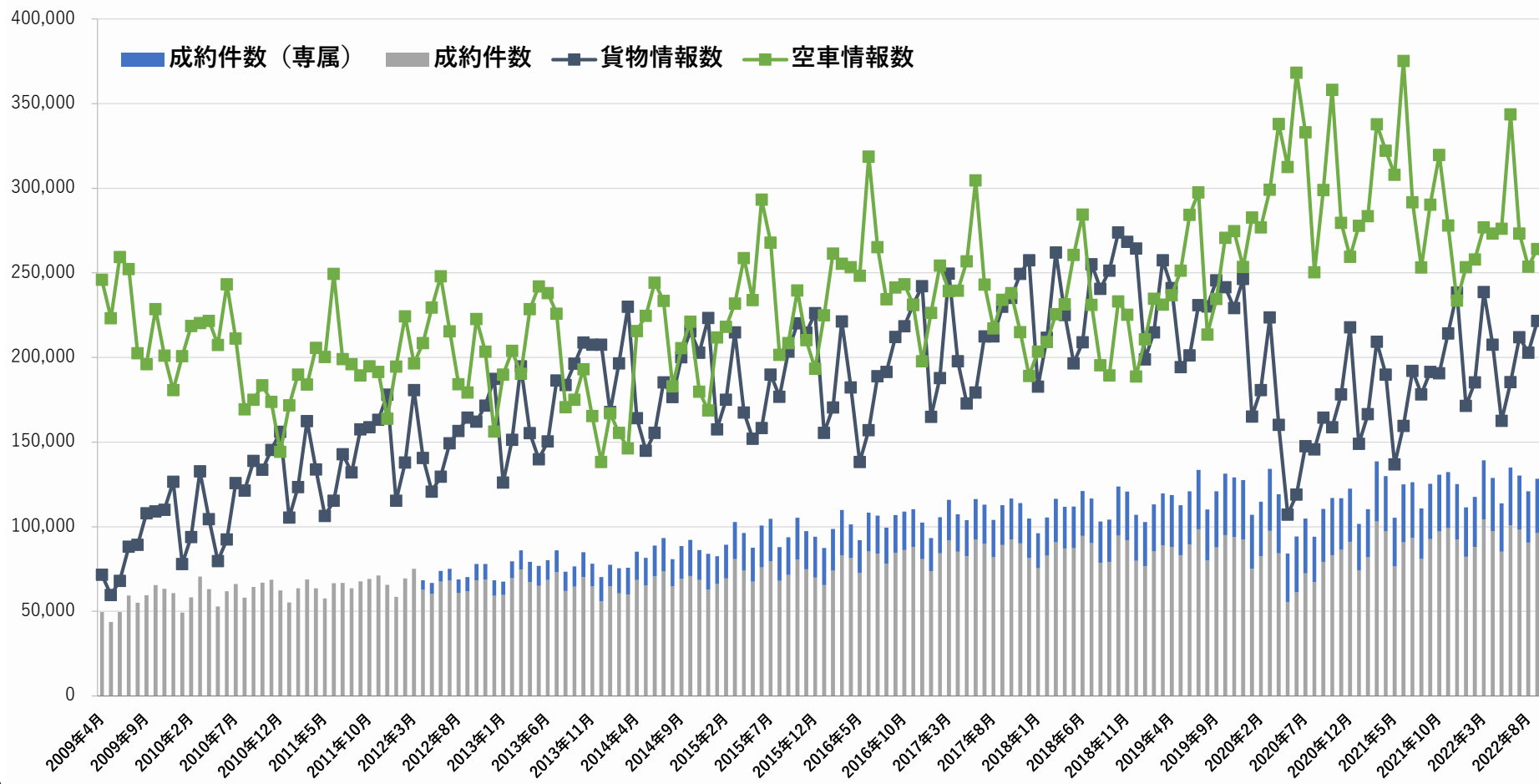
(千件)



(参考) 物流情報サービス事業 情報数推移

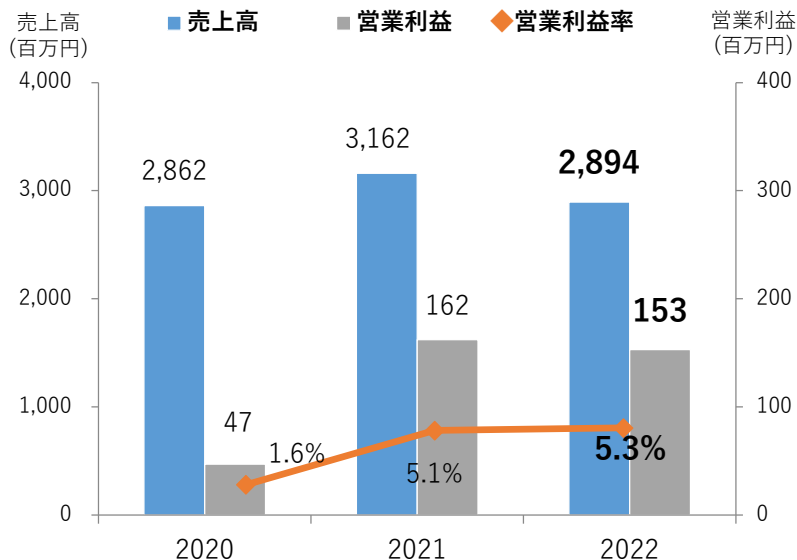


2009年以降の情報件数推移

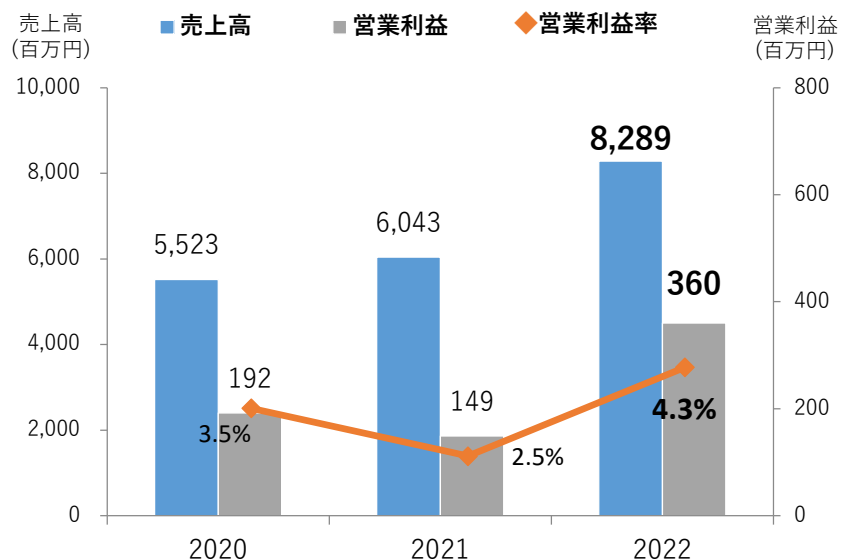


2023年3月期 上期連結業績 〈IS事業/その他〉

インダストリアルサポート事業



その他



業績

廃止拠点の影響により減収減益

業績

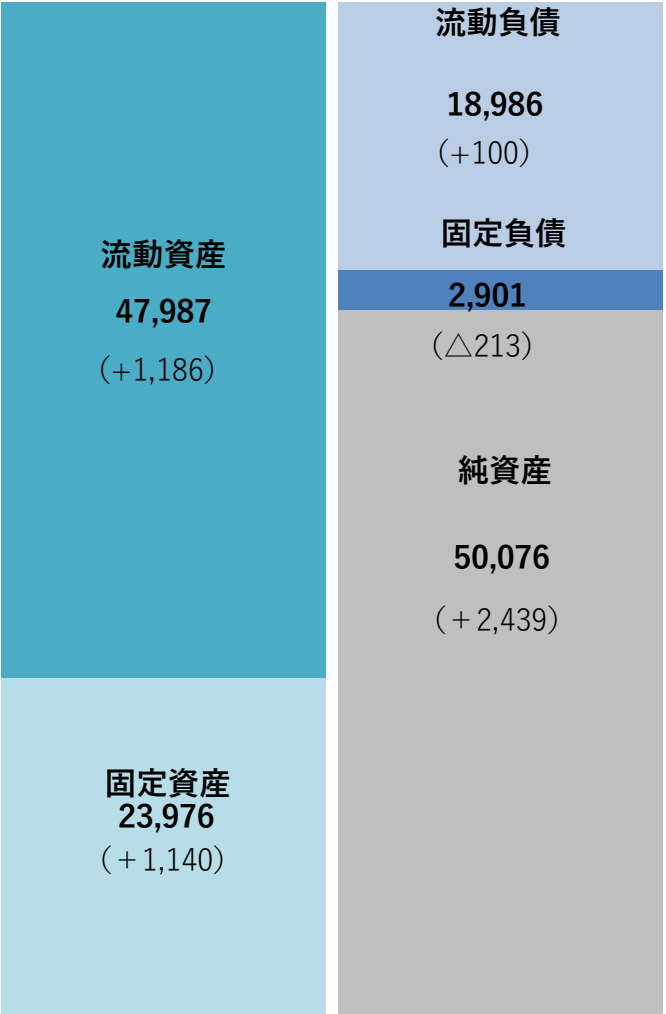
中国及びタイでの事業拡大
及び為替により増収増益

■為替		2021年9月末	2022年9月末
中国	円/元	17.30	20.37
タイ	円/THB	3.30	3.81
シンガポール	円/SGD	82.2	101.07

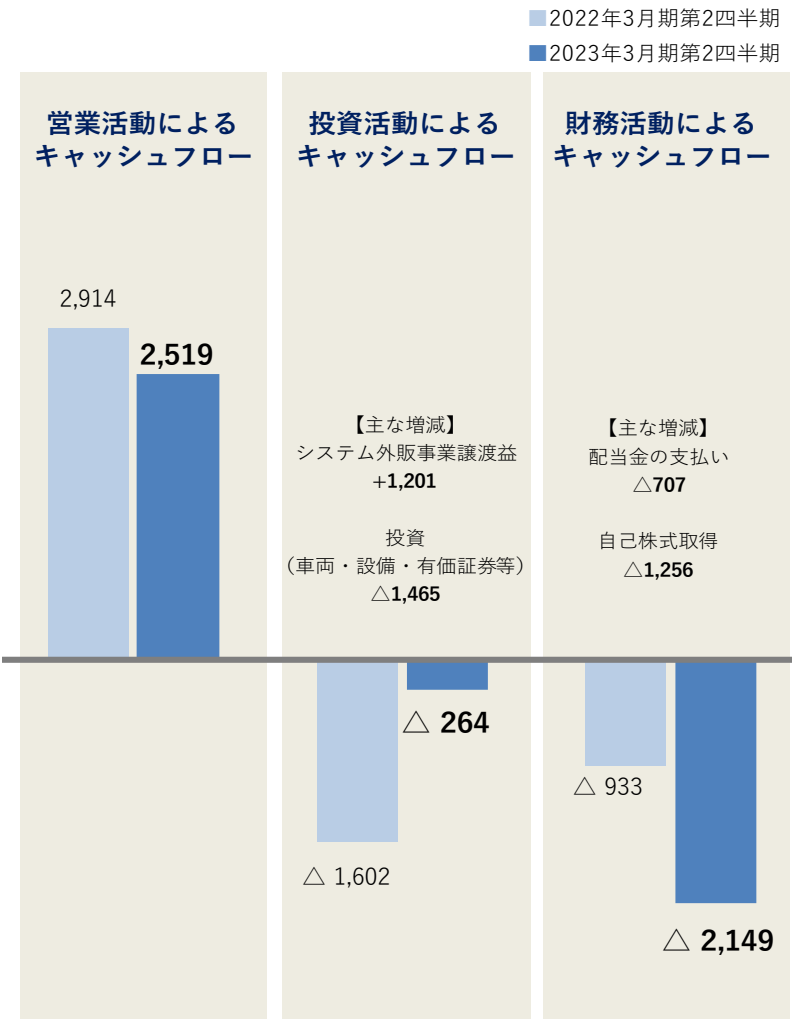


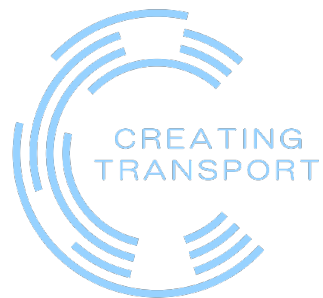
2023年3月期 第2四半期連結貸借対照表（対前期末比）

連結貸借対照表 単位：百万円



連結キャッシュフロー計算書 単位：百万円





2023年3月期 通期見通し

2023年3月期 連結業績予想

(単位：百万円) (参考)

	2022年3月期			2023年3月期 (予想)						2023年3月期
	上半期	下半期	通期	上半期 (実績)	前期比	下半期 (予想)	前期比	通期	前期比	当初 通期見通し
売上高	79,716	83,267	162,984	83,889	5.2%	87,610	5.2%	171,500	5.2%	170,000
営業利益 (売上高比)	3,959 (5.0%)	4,031 (4.8%)	7,990 (4.9%)	3,660 (4.4%)	-7.5% (-0.6P)	4,130 (4.7%)	2.5% (-0.1P)	7,800 (4.5%)	-2.4% (-0.4P)	8,530 (5.0%)
経常利益 (売上高比)	4,010 (5.0%)	4,180 (5.0%)	8,190 (5.0%)	3,805 (4.5%)	-5.1% (-0.5P)	4,190 (4.8%)	0.2% (-0.2P)	8,000 (4.7%)	-2.3% (-0.3P)	8,640 (5.1%)
親会社株主に帰属 する当期純利益 (売上高比)	2,600 (3.3%)	2,691 (3.2%)	5,291 (3.2%)	3,320 (4.0%)	27.7% (+0.7P)	2,680 (3.1%)	-0.4% (-0.1P)	6,000 (3.5%)	13.4% (+0.3P)	6,510 (3.8%)

売上高

上期同様、物流情報サービス事業及び海外事業が牽引
システム外販譲渡による減収分あるが通期連結計5.2%増の増収見込

営業利益

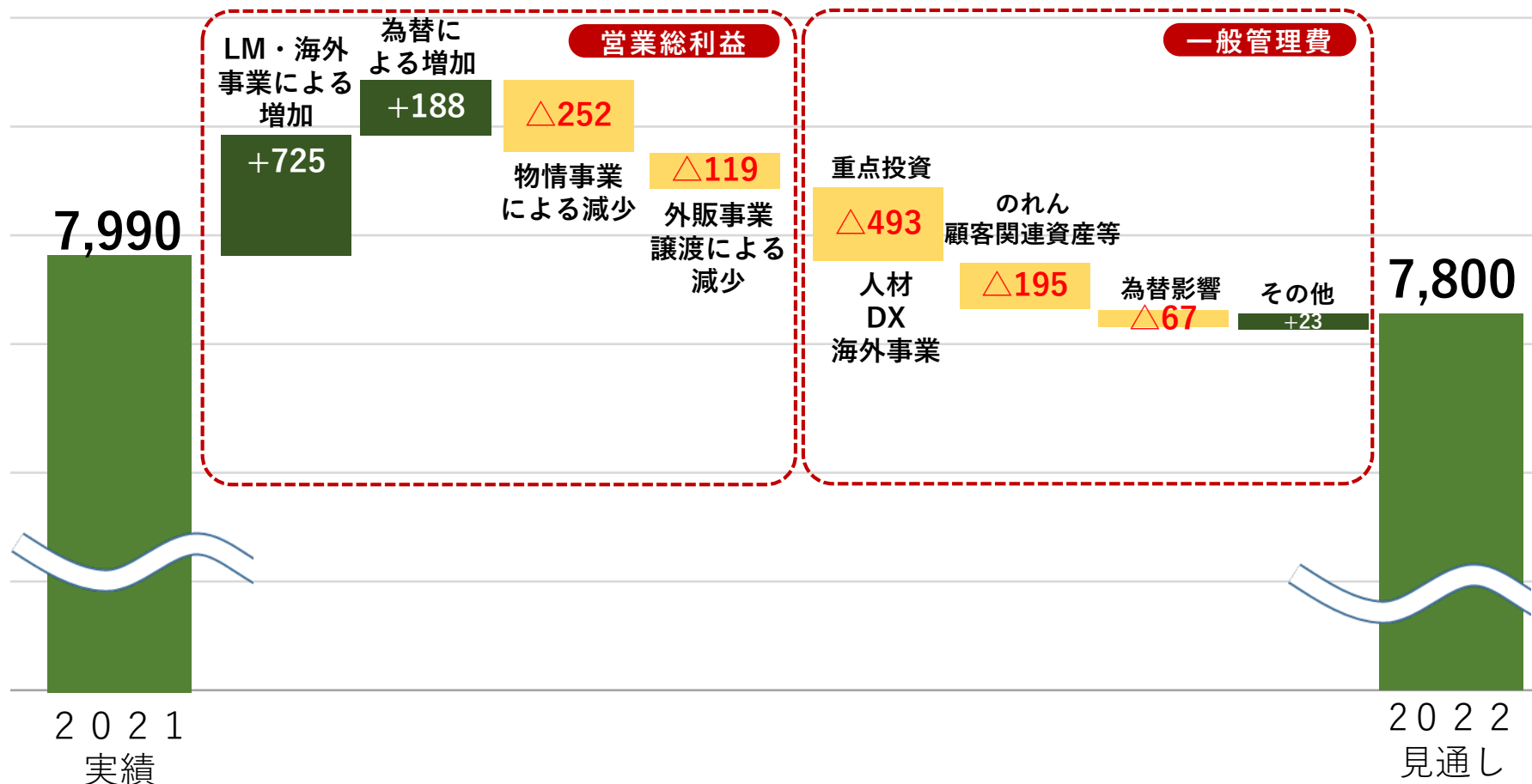
LM事業の戦略拠点の本稼働及び海外事業の牽引はあるが
一般管理費用増により連結計2.4%減の減益見込

当期純利益

システム外販事業の譲渡益を計上し、連結計13.4%の増益見込

2023年3月期 通期見通し [営業利益増減]

将来に向けた人材・DX・海外展開へ重点投資を見込み
営業利益は減益計画





2023年3月期 通期見通しセグメント別

(単位：百万円) (参考)

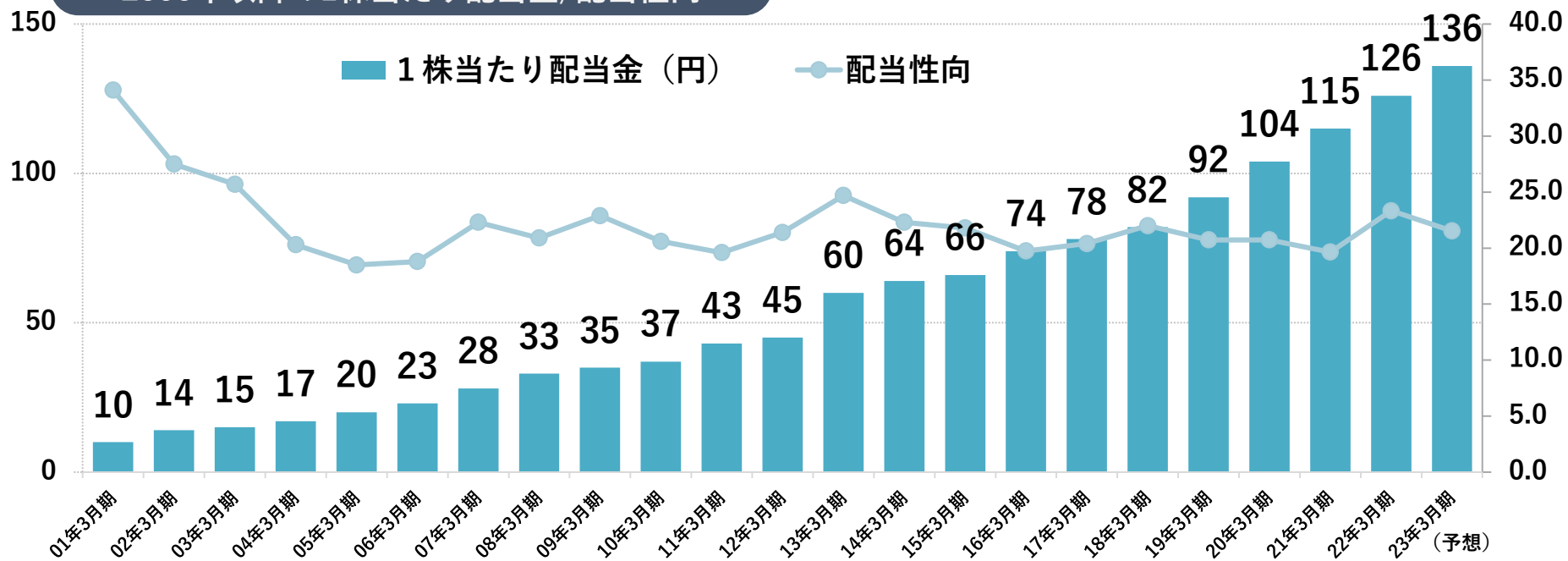
		2022年3月期			2023年3月期 (予想)						2023年3月期当初	
		上半期	下半期	通期	上半期 (実績)	前期比	下半期 (修正予想)	前期比	通期	前期比	下半期 (当初計画)	計画比
ロジスティクス マネジメント事業	売上高	27,891	27,607	55,499	27,265	-2.2%	27,880	1.0%	55,150	-0.6%	28,300	-1.5%
	営業利益 (売上高比)	2,187 (7.8%)	2,030 (7.4%)	4,218 (7.6%)	2,005 (7.4%)	-8.3% (-0.4P)	2,360 (8.5%)	16.2% (+1.1P)	4,370 (7.9%)	3.6% (+0.3P)	2,550 (9.0%)	-7.5% (-0.5P)
物流情報 サービス事業	売上高	43,381	46,095	89,477	46,207	6.5%	48,890	6.1%	95,100	6.3%	49,240	-0.7%
	営業利益 (売上高比)	1,531 (3.5%)	1,663 (3.6%)	3,194 (3.6%)	1,315 (2.8%)	-14.1% (-0.7P)	1,560 (3.2%)	-6.2% (-0.4P)	2,880 (3.0%)	-9.9% (-0.6P)	1,850 (3.8%)	-15.7% (-0.6P)
インダストリアル サポート事業	売上高	3,162	3,115	6,278	2,894	-8.5%	3,220	3.4%	6,110	-2.7%	3,350	-3.9%
	営業利益 (売上高比)	162 (5.1%)	155 (5.0%)	318 (5.1%)	153 (5.3%)	-5.5% (+0.2P)	200 (6.2%)	28.2% (+1.2P)	350 (5.7%)	9.9% (+0.6P)	230 (6.9%)	-13.0% (-0.7P)
その他	売上高	6,043	7,216	13,259	8,289	37.2%	8,380	16.1%	16,670	25.7%	6,540	28.1%
	営業利益 (売上高比)	149 (2.5%)	257 (3.6%)	407 (3.1%)	360 (4.3%)	140.5% (+1.8P)	110 (1.3%)	-57.2% (-2.3P)	470 (2.8%)	15.5% (-0.3P)	220 (3.4%)	-50.0% (-2.1P)
連結消去	売上高	-763	-767	-1,530	-767	-	-760	-	-1,530	-	-710	-
	営業利益 (売上高比)	-71 (-)	-76 (-)	-147 (-)	-174 (-)	-	-100 (-)	-	-270 (-)	-	-140 (-)	-
連結合計	売上高	79,716	83,267	162,984	83,889	5.2%	87,610	5.2%	171,500	5.2%	86,720	1.0%
	営業利益 (売上高比)	3,959 (5.0%)	4,031 (4.8%)	7,990 (4.9%)	3,660 (4.4%)	-7.5% (-0.6P)	4,130 (4.7%)	2.5% (-0.1P)	7,800 (4.5%)	-2.4% (-0.4P)	4,710 (5.4%)	-12.3% (-0.7P)



株主還元

中間配当は期初公表通り 1株当たり配当金68円。期末配当も68円を計画し
年間配当額126円→136円で増配予定、22期連続増配を予想

2000年以降の1株当たり配当金/配当性向



自己株式取得状況

2022年4月27日公表

取得し得る株式総数：290,000株
取得価額の総額：2,000百万円
取得期間：2022年5月2日
～2023年2月28日

2022年9月30日時点

取得した株式総数：174,200株
取得価額の総額：1,205百万円

(参考) 取得後の総還元性向：55.2%



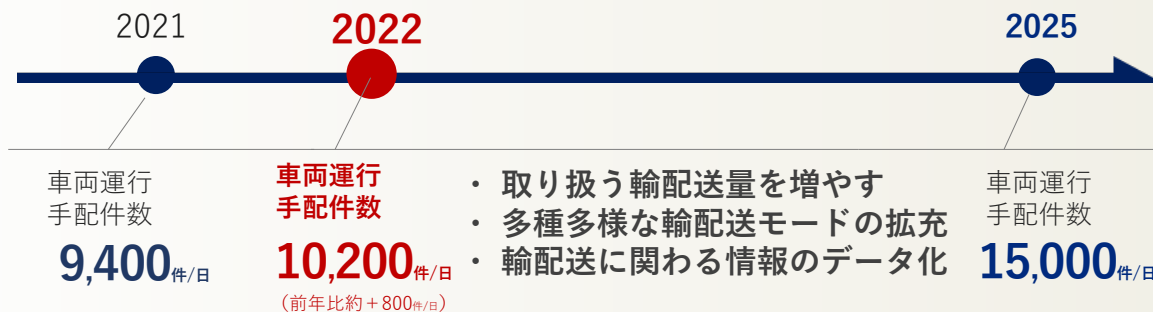
TRANCOM VISION 2025

進捗状況

TRANCOM VISION2025



はこぶ
を
創造する



2030
「はこぶ」
プラットフォームの提供

広く多くの企業に
利用される最適な
「はこぶ」の実現

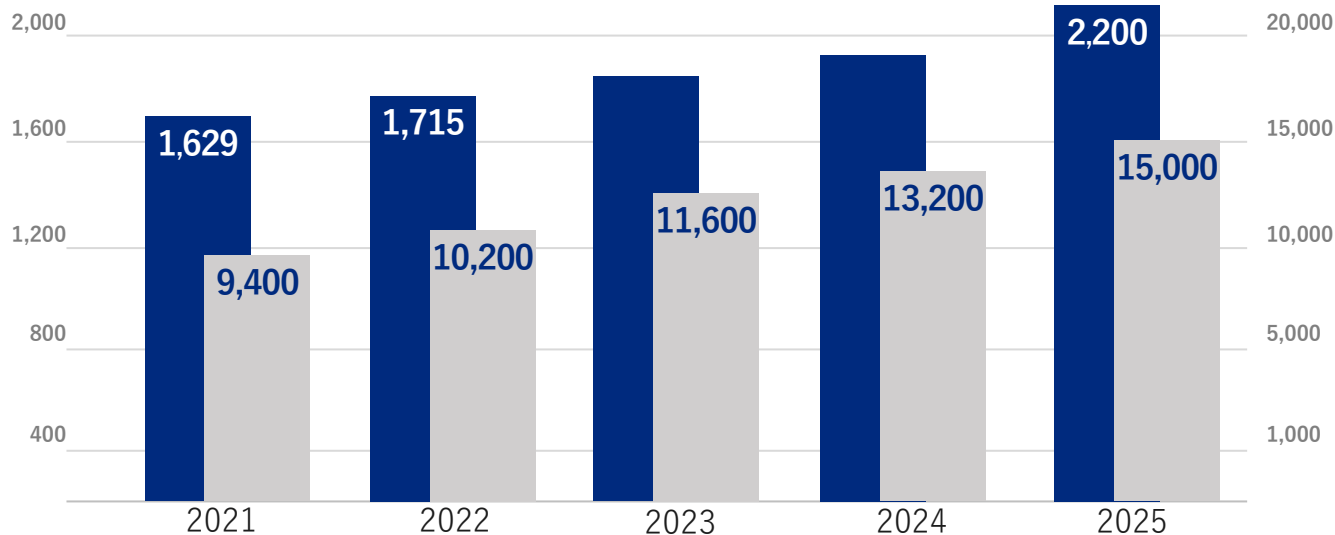
車両運行手配件数
23,000件/日

売上計画

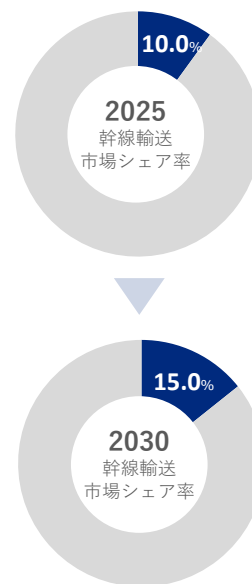
単位：億円

車両運行手配件数

単位：件



幹線輸送市場シェア比率



TRANCOM VISION 2025 主要戦略

あらゆる経営資源をTransportに集中

Transport へ注力

1. 輸配送能力の増大・向上 / 多種多様な輸配送モードの拡充
2. 国内における取り扱う輸送量の増大
3. 求貨求車サービスの事業高度化
4. 他社との協業によるイノベーション強化
5. デジタル化の進化に向けたシステム開発/他社とのデータ関係構築

既存事業の 基盤構築

6. ロジスティクスマネジメント事業の強固な事業基盤構築
7. ASEAN地区での成長強化

成長基盤の 再構築

8. 人材・組織のさらなる強化/多様化
9. ESG/SDGs経営への進化

輸配送量
増大

営業

はこぶ機能の強化・拡大

既存顧客深耕

工業品、化学品など新たな業界

輸配送モードの
拡充

パートナー

はこぶ能力の増大

専属車両増便、協力パートナーとの関係強化

機能、対応力の強化

拠点

プラットフォーム構築
の拠点開発

C-AREA（戦略拠点）C-LINK（中継拠点）

全国消費地へデポ拠点

宅配デポ拠点

サービス

様々な輸配送への対応

輸送：求貨求車、中ロット、中継輸送、特殊車両、冷凍冷蔵

配送：共同配送

ラストマイル

「はこぶ」仕組みづくりと事業展開のスピードアップ

はこぶ
戦略

業界別プラットフォーム構想の実現

関東での日用品プラットフォーム構築と他エリア/食品業界への展開

はこぶ
戦略

物流情報サービス事業の強固な事業基盤の再構築

「はこぶ」中核事業としてオペレーションの進化/高度化による競争優位性の強化

はこぶ
戦略

全社営業力の強化

1,500名営業体制、事業と営業が一体となった営業推進

はこぶ
戦略

ラストマイル事業領域の拡大

企業連携の強化による「はこぶ」機能の強化

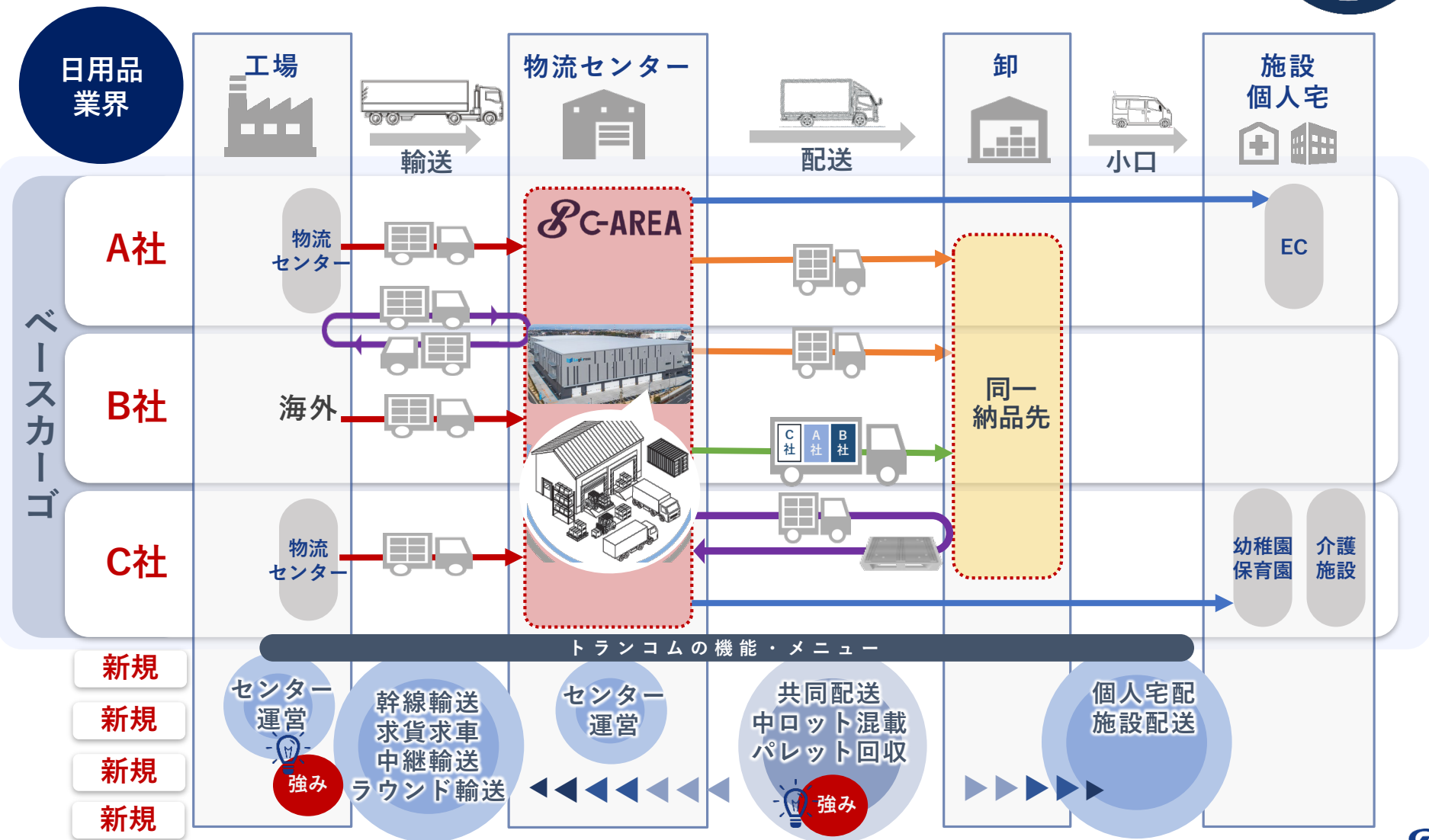


はこぶ
戦略

積極的な物流DX推進による事業変革

新たなDXソリューションの構築にかかる協業を推進

業界別プラットフォーム構想とは



業界別プラットフォーム構想の実現



はこぶ
戦略

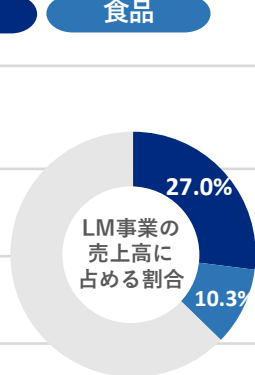
業界別プラットフォーム構想の実現

関東での日用品プラットフォーム構築と他エリア/食品業界への展開

日用品/食品（製造業）の売上推移 単位：百万円

日用品

食品

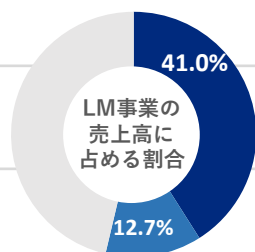


17,450

12,645

4,805

2016



29,634

22,603

7,031

2022見込み

関東から全国への展開 単位：百万円

日用品

食品

50,000

38,000

他エリア
日用品PF

関東
日用品PF

12,000

2025

22,603

他エリア
関東PF

7,031

2022見込み





物流情報サービス事業の強化

はこぶ
戦略

物流情報サービス事業の強固な事業基盤の再構築

「はこぶ」中核事業としてオペレーションの進化/高度化による競争優位性の強化

1 取引先との関係強化 荷主及びパートナーとの連携

パートナーへの安定した貨物の提供、適正な運賃の支払い、専属車両増便
新たな貨物の獲得：中ロット貨物の増大、新たなカテゴリ（冷凍冷蔵）への展開
荷主及びパートナーとの情報連携：貨物と空車の情報の一元化

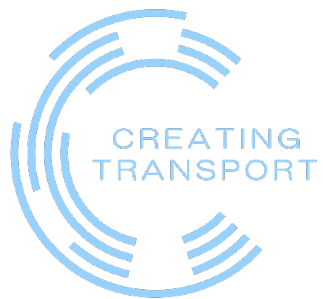
2 物流DX推進 ビックデータの活用によるサポート・支援

ビックデータを活かしたマーケット開拓
アジャスターのコア業務をサポートするシステム機能拡充
効率的な輸送を支援するパートナー/ドライバー向けシステムの早期開発・導入

3 他領域プラットフォームとの連携 異業種/異業界企業と輸配送領域でのデータ連携

4 更なる新規拠点開発 カバーエリアの拡充/新たな輸送マッチング展開





参考資料

トランコムの変革



創業期

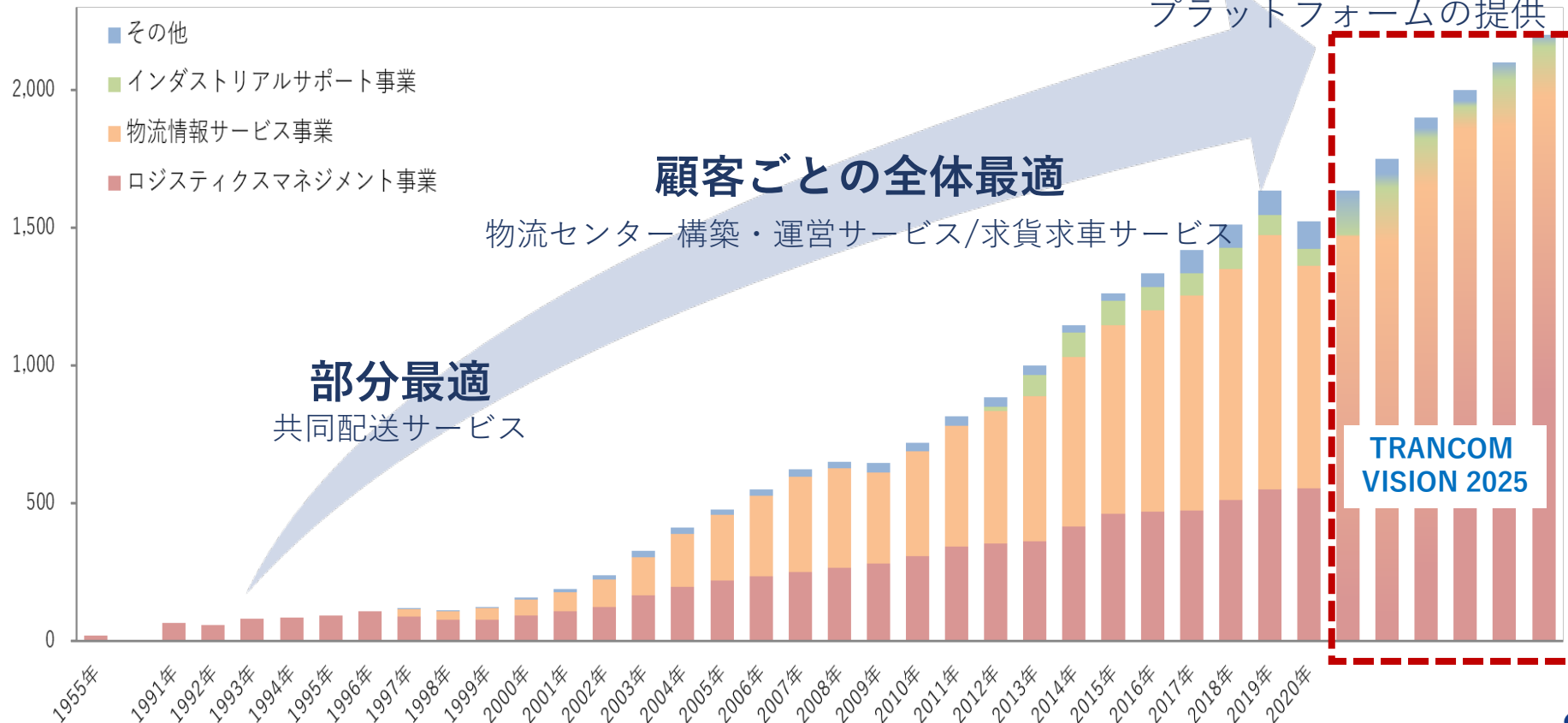
第1変革期

第2変革期

第3変革期

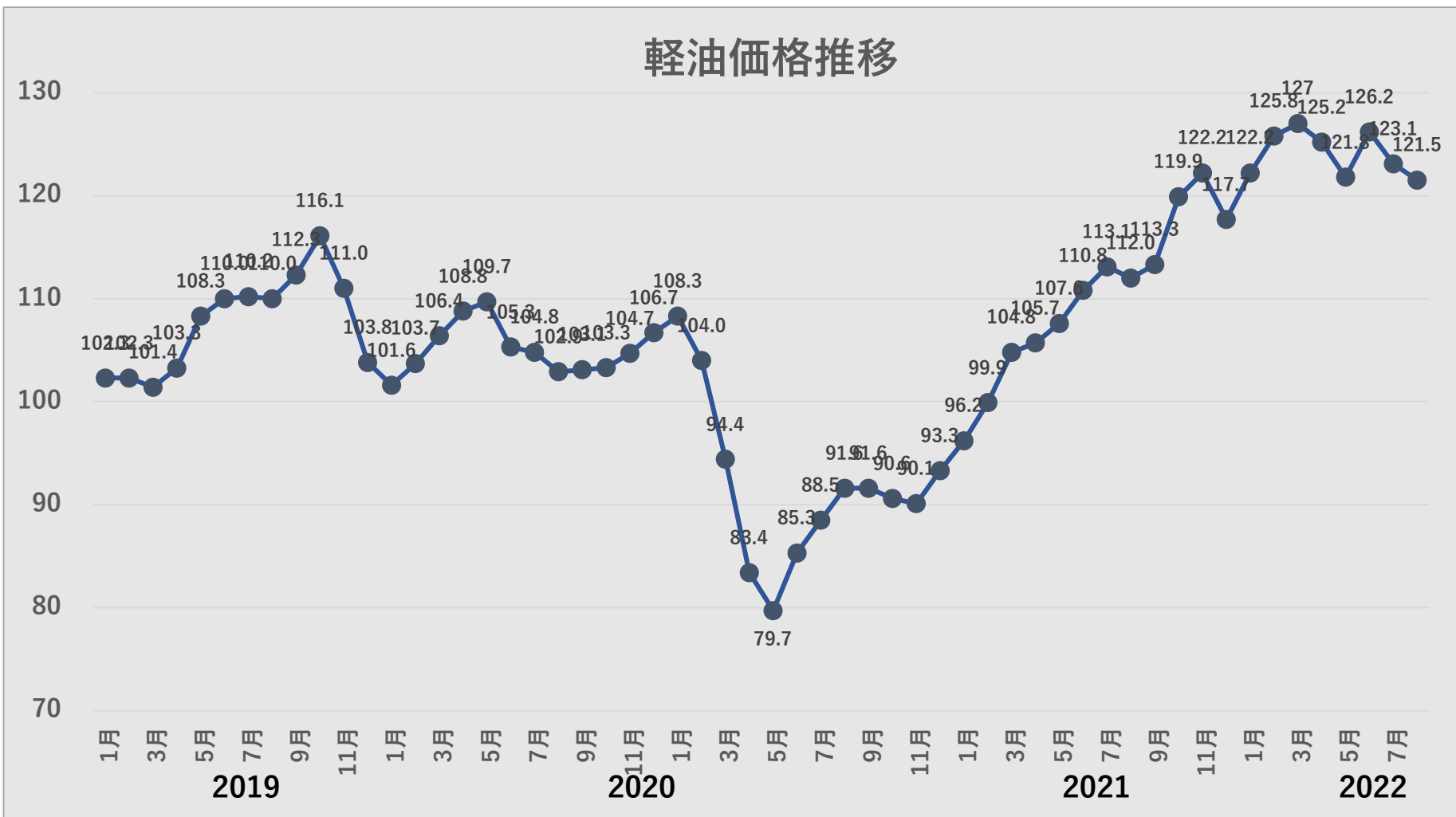
創業以降の売上高推移

(億円)



燃料単価推移

軽油価格推移



出所：石油情報センター、大口需要者向け軽油ローリー価格



物流業界全体

約24兆円

トラック運送事業

約14.4兆円

登録トラック台数

約1,292,000台

宅配事業

約2.4兆円

登録トラック台数

約288,000台

出所：日本物流団体連合会「数字で見る物流2019」
一般財団法人 自動車検査登録情報協会「車種別（詳細）保有台数表」



本資料及びIR関係のお問い合わせにつきましては、
下記までお願いいたします。

トランコム株式会社
YOUR LOGISTICS COLLABORATOR

MA I L : ir_info@trancom.co.jp
TEL.052-939-2011 FAX.052-939-2015
www.trancom.co.jp



経営企画グループ

T E L : 052-939-2023 F A X : 052-939-2015

※ 本資料には、作成時点における情報を基に予測した事業の将来見通しなどが含まれております。
将来における変動要素やリスク要因などにより、異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

